

委員会レポート

閉会中の各委員会活動状況

総務

7月23・24日
事業仕分け

5月20日 協議会開催

対応していく。

非常食を充実

7月23・24日に実施される「幸田町版事業仕分け」の詳細が示めされた。

Q 仕分け人は決定しているか。

A 町に3カ月以上住所を有する18歳以上の1000人を無作為に抽出し60人募集する。応募多数の場合は抽選。6月末に決定。

Q 判定人の出す結果は、「○」か「×」か。

A 「不要」「他で実施」「要改善」「継続」「拡充」。結果は民意であり慎重に

Q 東日本大震災を教訓に、地域の特性に応じたスタンスの確立を。

A 地域に適した防災計画で見直していく。

Q 防災倉庫の管理は、どこか。

A 消防本部が管理している。

Q 備蓄品を増やして均等に配分を。

A 非常食は早い時期に充実できるようにすすめていく。



防災倉庫の中

土砂災害警戒区域 7カ所拡大

産業建設

5月19日 協議会開催

上水道施設の耐震化

大雨による土石流・急傾斜地の崩壊が想定される区域、里区3カ所、荻区4カ所の計7カ所が追加指定。

Q 指定を受けると。

A 地区は避難体制を作り、町災害情報により早期避難をおこなう。

Q 土砂災害警戒情報の発表と周知は。

A 大雨警報発表中、土砂災害の危険が高まった時県が発表し、町は行政無線で周知する。

平成24年度の完成を目指し、坂崎第3受水点の整備事業をすすめている。

Q 本事業完了時の配水管の耐震化率は。

A 平成22年度末77%、23年度末8.4%、24年度末9.1%になる。

Q 他の施設の耐震化は。

A 施設構造物は耐震済、配水管は補助事業や区画整理事業などで耐震化を検討していく。

Q 水道ビジョンの見直しの考えは。

A 耐震化促進のため、今後見直しを検討。



指定された警戒区域

働く世代の 大腸がん検診

文教福祉



がん検診の拡大

5月16日協議会開催

平成23年度、新規・改善の保健事業

・メタボ講演会の実施。

・働く世代の大腸がん検診。40・45・50・55・60歳が対象。

・歯周疾患検診。

・20歳も対象になる。

・できる男の健康料理塾。

・2回から7回に拡充。

6月15日協議会

緊急開催

大草・菱池保育園で

休日保育

自動車関連産業の7月か

ら9月の土日操業を受け、保育園の休日保育、放課後児童クラブおよび放課後子ども教室の休日開設を実施。保育料・手数料は無料。

対象の園児・児童数は

A 大草保育園は35人、菱池保育園は59人。放課後児童クラブは47人、放課後子ども教室は約20人で共に中央小学校で開設。

Q 運営体制の補充は

A 期間限定で嘱託職員2人、アルバイト6人、数人の指導員を採用する。

Q 初めての取り組みで安全面は大丈夫か。

A 充分配慮していく。

A 充分配慮していく。

特別委員会構成

6月23日特別委員会設置

・防災対策特別委員会（定数8人）

委員長	伊藤 宗次		
副委員長	鈴木 雅史		
委員	内田 等	夏目 一成	
	酒向 弘康	浅井 武光	
	中根 久治	中根 秋男	

・総合開発特別委員会（定数7人）

委員長	笹野 康男		
副委員長	杉浦あきら		
委員	大嶽 弘	丸山千代子	
	水野千代子	都築 一三	
	志賀 恒男		

編集後記

朱塗りの山門に白い壁、深溝本光寺の紫陽花を見ました。

今年の特徴は、「冬の寒さが影響し、いつもより開花が遅れた。」との話でした。

6月議会定例会の特色は、新人議員6人の誕生で新鮮・斬新な意見と、10人の議員による一般質問が新風となりました。

東日本大震災の教訓を生かし、議員提案で、防災対策特別委員会を設置しました。

激しく変化する社会情勢の中、広報委員一同、日々研鑽を積み、楽しく分かりやすい広報紙づくりに努めたいと考えています。

（大嶽 弘）

発行責任者

議長 池田 久男

議会広報特別委員会

委員長 大嶽 弘

副委員長 丸山千代子

委員 水野千代子

酒向 弘康

都築 一三

中根 久治

志賀 恒男